



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,920	△3.3	760	△7.9	793	△7.2	466	△16.3
24年3月期第1四半期	5,086	62.1	826	45.0	855	47.2	557	174.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 335百万円(△39.6%) 24年3月期第1四半期 555百万円(396.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	25	80	—	—
24年3月期第1四半期	33	07	33	05

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,234	70.9	16,499	70.9	—	—
24年3月期	23,098	71.2	16,489	71.2	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,469百万円 24年3月期 16,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
24年3月期	—	—	10	00	—	—	
25年3月期	—	—	—	—	—	—	
25年3月期(予想)	—	—	10	00	—	—	
				18	00	28	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	11,000	2.2	2,050	1.1	2,100	1.3	1,370	1.0	75	82
通期	20,500	0.1	3,700	0.9	3,800	1.1	2,300	2.6	127	29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	18,098,923株	24年3月期	18,098,923株
25年3月期1Q	30,122株	24年3月期	30,122株
25年3月期1Q	18,068,801株	24年3月期1Q	16,849,415株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済の動向は、ヨーロッパ危機が新興国の輸出減少へと連鎖するといった景気の減速あるいは低迷が世界的な規模で起こり、各国がその解決の糸口を見い出せない状況が続きました。一方で時折回復を示す景況指数の発表や、ヨーロッパ危機の一段落観測、また、国内では東日本大震災からの復興需要などがあり、一部業態、企業の業績が好転する局面も見られました。

このような環境の中、当社グループの主力事業である巻線機事業に関連するマーケットは、人類の暮らしを支えるアイテムとして電気・電子機器、情報機器、産業機器の需要が増大し、さらにこれらの小型化、軽量化、コモディティ化の欲求が高まり、また、並行して世界各国が省エネ、自然エネルギーの活用といった地球環境の保護に取り組み、燃焼エネルギーから電気エネルギーへの転換を進める中で、ニーズの高まり、多様化を見せております。このようなトレンドは、時として経済の危機に巻き込まれながらも、人口の増加、生活の質の向上が進む限り絶えることなく継続し、それらに必要な製品、部品の生産設備には、常に新技術の開発や生産性の向上が求められることから、当社グループ巻線機事業の生産は繁忙な状況が続きました。

当社グループの巻線機事業は、顧客ごと専用の多種多様な生産設備の受注生産の形態であり、納期もまちまちのため、売上期の平準化が難しく、当第1四半期連結累計期間における売上高は去年同期比微減となりました。また、昨年からの強化を始めた一貫生産ラインにおいて、研究費負担のある開発初号機の売上げが相対的に多かつたため、利益率も昨年対比では減少しておりますが、ほぼ計画通りの推移となりました。

これらの結果、売上高は49億20百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は7億60百万円（前年同期比7.9%減）、経常利益は7億93百万円（前年同期比7.2%減）、四半期純利益は4億66百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (巻線機事業)

全売上高の約96%を占める巻線機事業におきましては、前述の結果、連結売上高は47億22百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益（営業利益）は8億54百万円（前年同期比10.0%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は40億78百万円（前年同期比50.3%減）、売上高（生産高）は42億52百万円（前年同期比2.3%減）、当第1四半期末の受注残高は71億41百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

## (非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、東日本大震災の受注マインドの低下影響から徐々に回復し、連結売上高は1億44百万円（前年同期比37.4%増）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同期比169.2%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は1億37百万円（前年同期比27.2%減）、売上高（生産高）は1億44百万円（前年同期比37.4%増）、当第1四半期末の受注残高は1億79百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

## (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は53百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比98百万円増加し、159億32百万円となりました。これは主として、原材料及び貯蔵品が1億24百万円減少したものの、現金及び預金が2億71百万円、受取手形及び売掛金が1億17百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比37百万円増加し、73億2百万円となりました。これは主として、投資有価証券評価損の計上等により投資有価証券が1億18百万円減少したものの、長崎事業所の用地取得等により土地が1億24百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比1億35百万円増加し、232億34百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比1億15百万円増加し、56億2百万円となりました。これは主として、未払法人税等が6億7百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億42百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比10百万円増加し、11億32百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比1億25百万円増加し、67億35百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比10百万円増加し、164億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成24年5月11日に公表しました通期業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,523,158	7,794,222
受取手形及び売掛金	4,120,361	4,238,249
仕掛品	2,956,510	2,979,294
原材料及び貯蔵品	723,097	598,710
繰延税金資産	263,357	119,050
その他	263,758	217,311
貸倒引当金	△16,795	△14,649
流動資産合計	15,833,448	15,932,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,366,925	2,333,039
機械装置及び運搬具(純額)	330,436	327,367
土地	1,524,705	1,649,205
その他(純額)	118,028	135,780
有形固定資産合計	4,340,095	4,445,393
無形固定資産		
その他	86,485	88,432
無形固定資産合計	86,485	88,432
投資その他の資産		
投資有価証券	1,267,317	1,148,896
繰延税金資産	1,040,425	1,071,408
その他	538,827	555,332
貸倒引当金	△7,807	△6,874
投資その他の資産合計	2,838,762	2,768,763
固定資産合計	7,265,344	7,302,589
資産合計	23,098,792	23,234,778
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,776,643	4,018,851
未払法人税等	768,610	161,331
賞与引当金	300,386	169,336
その他	641,434	1,252,825
流動負債合計	5,487,075	5,602,344
固定負債		
退職給付引当金	264,053	286,133
負ののれん	69,311	57,759
その他	789,082	789,078
固定負債合計	1,122,447	1,132,971
負債合計	6,609,522	6,735,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,243,931	7,384,894
自己株式	△22,917	△22,917
株主資本合計	16,647,996	16,788,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,631	△37,814
為替換算調整勘定	△188,655	△281,393
その他の包括利益累計額合計	△191,287	△319,207
少数株主持分	32,561	29,710
純資産合計	16,489,269	16,499,461
負債純資産合計	23,098,792	23,234,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,086,419	4,920,614
売上原価	3,642,808	3,529,269
売上総利益	1,443,611	1,391,344
販売費及び一般管理費	617,520	630,834
営業利益	826,090	760,510
営業外収益		
受取利息	1,598	5,235
受取配当金	14,453	10,868
負ののれん償却額	11,551	11,551
その他	10,657	8,509
営業外収益合計	38,261	36,164
営業外費用		
債権売却損	1,443	1,332
為替差損	3,252	1,262
その他	3,722	107
営業外費用合計	8,418	2,702
経常利益	855,934	793,971
特別利益		
固定資産売却益	26	1,716
投資有価証券償還益	2,221	—
その他	118	120
特別利益合計	2,366	1,837
特別損失		
固定資産除却損	3,898	1,583
投資有価証券評価損	—	70,029
減損損失	1,175	—
その他	790	152
特別損失合計	5,864	71,764
税金等調整前四半期純利益	852,436	724,044
法人税、住民税及び事業税	188,613	130,365
法人税等調整額	105,696	127,973
法人税等合計	294,310	258,338
少数株主損益調整前四半期純利益	558,125	465,705
少数株主利益又は少数株主損失(△)	973	△496
四半期純利益	557,151	466,201



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	558,125	465,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,838	△35,182
為替換算調整勘定	15,323	△95,092
その他の包括利益合計	△2,515	△130,275
四半期包括利益	555,609	335,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555,276	338,281
少数株主に係る四半期包括利益	333	△2,851

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,927,132	105,177	54,109	5,086,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,927,132	105,177	54,109	5,086,419
セグメント利益	949,024	12,369	26,381	987,774

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	987,774
全社費用(注)	△161,684
四半期連結損益計算書の営業利益	826,090

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,722,602	144,507	53,505	4,920,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	4,722,602	144,507	53,505	4,920,614
セグメント利益	854,136	33,300	44,388	931,825

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	931,825
全社費用(注)	△171,315
四半期連結損益計算書の営業利益	760,510

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。